

## 復活の主日の説教

金 大烈 神父 2011年4月24日(日)

### 《復活は“体験”、そして“空”になること》

主の平和。

今日は洗礼式もありますので、簡単に申し上げます。昨夜、私は「復活は何だ」と申し上げたでしょうか。そうです。“体験”です。言葉でなく、言語でなく、頭でなく、“胸から感じられる体験”だと申し上げましたね。今日の福音(ヨハネ 20・1-9)では、弟子2人が、イエス様が葬られた墓に行って見たところ、その墓の中にはイエス様はいらっしゃらなかったとありました。ということはその墓は空っぽになった訳です。

もう一つの表現として復活は“空の墓”です。墓は死んだ者を入れるところです。死んだ者が留まるところです。しかし、その中から“死”というものを無くす事、それを復活と言います。ある意味で皆様が今まで、色々な生き方をしてきたけれど、本当に復活の体験が出来る一番の方法は、皆様が今までやって来た全ての事を捨てることです。皆様の胸を空にする事です。自分の考え、自分の執着、色々な事、自分が築いてきた全ての事を空にした時、その時、復活の信仰、復活の霊性が体験出来るのです。

ですので、誰かに「復活ってどういう事だ?」と聞かれたら、「死んでからも生きる事だ」と簡単に答えないで下さい。本当に難しい事です。私たちは皆、復活に招かれています。その復活の為に、その復活が頭ではなく、胸で感じられる体験になる為に、皆様よくご存知でしょう、ご自分が何をしなければならぬか。それを捨てずに、ちゃんとご自分の手に握ったまま、「復活の体験がしたい、復活の体験がしたい」と言ってもそれは無理だと思います。ですので、もう一度申し上げます。復活の信仰は“空っぽ”の信仰です。中をきれいにし、入られるように、何かが入られるように、何よりもキリストのみ旨が入られるように、皆様が握っているものを全部無くして下さい。そしてこれは、明日すぐに出来ることではありません。死ぬ時まで、一生懸命望む心と共に、一つ一つ無くするのが信仰の道だと思います。

今日3人の方が洗礼を受けられます。ですので、今日はちょっと厳しく申し上げます。洗礼というものは、ただ水で顔を洗うものではありません。洗礼というものは“決断”です。今までの行き方を漫然としながら、信仰生活をしようとするなら、今洗礼の恵みを頂かない方が良いと思います。先輩の中にも失敗している人がたくさんいます。ですので、この洗礼によって、この3人の方の、生まれてから今までの全ての罪が赦される事を、私たちカトリック教会は2000年間ずっと信じています。私も信じます。ですから、3人の方が今までどのような罪を犯してきたか、私は興味がありません。全部赦されます。赦される時は唯一つ、「私はイエス・キリストを信じます」と言う時です。その心の表しがあったから、今日この3人の方は洗礼を受けられます。

いくつか申し上げます。教会を完璧な共同体として思わないで下さい。皆様と全く同じ人々の集まりです。ただ、正しい道を一緒に歩みたいと思う人々の群れです。全ての人は自分の弱さを認めています。何故、このような話をするかといいますと、大体、綺麗な、夢の様な絵を描いて洗礼を受ける人が多いのです。そして、求道中の勉強を時には、忙しくて周りの事が目や耳に入らなかったと思います。しかし、信者になって具体的に信仰の生活をしてみたら、外の世界でも見る事が無かった様な汚いところが見える。「私が求めたものはこれではない」「あの人は何だ」と、色々な事を見て傷を受け、そして「信仰の道を諦めよう」というばかげた話をする人もいます。

いえ、そうではありません。私たちは皆、自分の弱さを認めています。もし、人ががっかりする事が起きたら、その時、自分の信仰が間違いであったと疑わないで下さい。信仰の始まりは、神様とあなたか人ひとりの一対一の関係です。ただ、私たちは皆同じ道を歩もうとするのだ、少し進んでいる人は、遅れている人を引っ張って一緒に進んで行く。遅れている人は先に進むに人に引っ張ってもらう。それが信仰です。完璧な世界はこの世の中にはありません。

さあ、2番目。先ほど申し上げたように、前の習慣、特に悪い習慣を絶対に見せないように頑張ってください。自分の力によって見せないようにするのではなくて、祈りと共に、「私はこの悪い習慣、悪い癖をあなたの力によって無くしたいのです」という絶え間ない祈りを捧げて下さい。

3番目。代父、代母の関係が結ばれましたね。絶対にお金の関係にならないようにお願いします。これは崩れます。もし欲しいものがあれば、ただであげて下さい。絶対にお金の関係にならないようにお願いします。たくさんの信者がお金によって関係を崩し、そして敵のようになってしまうことがあまりにもよく見られました。それを憶えて下さい。

4番目。教会には義務があります。教会が定めた義務があります。その義務は守るべきものです。守らなかつたら赦しをもらうべきです。それを心に刻んで下さい。

このように、はっきりした教育によって、皆様3人は先輩の間違った事を同じように歩んでは行かないと思います。

3人の方、今までの間違えたことを全て赦されることを感謝して下さい。そして、本当に新しい気持ちで、この残っている人生を生きて下さい。そして何よりも必要な事、“積極性”をお持ち下さい。隠れキリシタンではありません。私たちは私たちが感じた喜びを伝えなければならないのです。それが一番大きい使命です。その為にこの3人の方は望ましい信仰をなさって下さい。

このような話をする、3人の方の顔が暗くなってしまうのではないかと思います、皆同じです。心配なさらないで下さい。そして何かあったら、話かけて下さい。

3人の方、立ち上がって皆に顔を見せて下さい。

皆様、はっきりこの人たちを覚えて下さい。(大きな拍手)

もう一度質問させていただきます。

「洗礼を望みますか」

「はい、望みます」

ありがとうございました。